

区政のここが聞きたい

第2回定例会一般質問(要旨)

6月27・28日



※本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会及び予算・決算特別委員会の録画映像を、区議会ホームページで公開しています。

地域の声で、未来につなぐ新たな豊島



自民党豊島区議員
芳賀 竜朗



●高際みゆき新区長の区政運営に臨む基本姿勢と抱負について

●前高野区政で掲げていた区の将来像、中長期的な4つのテーマを、区長はどのように継承・発展させていくか。

●区政運営の基本姿勢はひとが主役のまちづくり。前区政の土台を大事にするともに、多様化するニーズに向き合い、更なる発展に向け取り組んでいく。

●健全な財政運営の維持・前進に向け、どのような方針で財政の舵取りを行っていくか。

●歳入・歳出の両面から、中長期的な視点を持ち取り組む。

●学校給食費の無償化について

●本区において無償化に至った経緯は。

●長引く物価高騰による子育て家庭への影響を鑑み、区で先行実施することを決断した。

●安定財源確保のため、自治体への支援を行うよう国に働きかけることを要望したが、本区の考えは。

●無償化は国の責任において実施すべきもの。今後もあらゆる機会を捉え、国に対し早期に無償化を図るよう求めていく。

●中学生の放課後支援について

●西池袋中学校にオープンした「にしまるーむ」の特徴は。

●校内設置型の居場所としては、本区初の取組。公民連携による運営が特徴。

●安心・安全対策について

●テロの未然防止等に向け、以前提言したイケバスをまちの見守り活動に活用することについて、状況はどうか。また、本区の未然防止の取組は。

●本区と区内3警察署、イケバスを運行するウィラーエクスプレス株式会社との間で、相互の必要な協力を定めた覚書を締結した。また、本区では、区内の大きな行事の際には、警察署と連携する等、取り組んでいる。

●望まない受動喫煙の防止対策と、公共喫煙所の整備について

●WACCA池袋5階に民間事業者が設置する公衆喫煙所第1号が設置された。区の評価は。

●中池袋公園を中心とした、池袋駅東口の路上喫煙対策に一定の役割を果たしている認識。

●今年度の公共喫煙所の設置の進捗状況と今後の見込みは。

●たばこ販売協議会等と連携の上、適地の設置に向け積極的に取り組んでいく。



公衆喫煙所のTHE TOBACCO IKEBUKURO (WACCA池袋5階)

●池袋駅周辺のまちづくりについて

●池袋駅西口の再開発事業を含む池袋副都心の都市再生に向けた今後の進め方は。

●関係機関との連携を強化し、都市再生を進めていく。

●学校の計画的な改修について

●千川中学校複合施設は、区

●区長の区政運営の方針について

●区立小中学校での給食費無償化の実施概要は。

●9月から区立小中学校全ての児童・生徒の給食費を無償化する。開始に向けて準備を進め、早期に国の責任において無償化を図るよう国に求めていく。

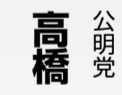
●区独自の出産費用無償化の早期実現について現状の考えは。

●第3回定例会での区独自の支援策提案に向け準備を進める。

●子ども若者施策について

●産後ドゥーラの活用や担い手養成について区の考えは。

公明党



高橋 佳代子



●内本校舎で初となる区施設との複合化をしているが、今後の本区の学校改築における考えは。

●改築校の立地条件等を踏まえ、今後も検討していく。

●学校施設等長寿命化計画の8年度の改定に向けた考えは。

●教育面、施設整備面、財政面等様々な視点から検討を行う。

●リラックスして話ができる相談室をしつらえる。子どもの権利救済のほか、子どもの権利に関する条例の普及啓発の拠点ともなり、周知活動を行う。

●未来としまミーティングの開催にあたり、若者の提案を区政に活かせる仕組みづくりの検討を求めているが、いかがか。

●先進自治体の取組を検証し、区内大学との連携事業をはじめ若者の意見を区政へ反映させていく方法を検討する。



子ども若者施策

●多様性と包摂性のある豊島区の実現の為に



立憲・れいわ
さくま 一生



●暑さ対策について

●給水スポットの設置は、暑さ対策、環境施策としても重要。今後の事業拡大は。

●全ての区民ひろばへの給水機の設置を進める。他の区有施設にも順次設置を進めていく。

●熱中症予防の観点からエアコンが入っており、座って休憩することができる公共施設や協力店を休憩所とする、クールシ

●区民ひろばを一時的に暑さから逃れて休憩できる場所として活用する。民間企業等とも連携した取組を展開していく。

●まちづくりにについて

●環状4号線に地元要望である2箇所の横断歩道設置実現を都に働きかけるよう求める。

●都に対し強く要望していく。

●上池袋1丁目のまちづくりの方向性をどのように決定していくのか。

●まちづくり協議会で整備方針の改定に向けた検討を実施し、今後の方向性を定めていく。

●井戸の修繕について

●池袋南地区において、防災基金を活用し、井戸の修繕を行うことを求めるが、区の考えは。

●まずは井戸としての再生の可否を調査し、再生可能な場合は防災基金等を活用した修繕の実施を検討していく。

●高際区長の区政運営について

●区長の考える「オールとしま」の進化版とは。

※区の将来像…国際アート・カルチャー都市
※中長期的な4つのテーマ…文化を基軸としたまちづくり、子どもと女性にやさしいまちづくり、高齢者にやさしいまちづくり、さらに安全・安心なまちづくり
※産後ドゥーラ…産前産後の母親に寄り添い、家事や育児・相談ごとまでサポートする産前産後の母親を専門に支える人

財団等と連携し、サポートして行く。ハラスメントの啓発については、研修等の対策を徹底していく。

●特別支援教育について

区長の考える「インクルーシブ教育」とは。

障害の有無によらず、全ての子ども達の人格と個性が尊重され、自分の可能性を最大限伸ばすことができる教育である。



区の特別支援教育指導員の応募資格を東京都公立学校特別支援教室専門員と同等にしては、職務内容に差があるため本区の指導員応募資格が狭くなっていると思われるが、多様な教育的ニーズに応えるため、変更を考える。

教育センターの就学相談員

高野区政の継承と 発展 区制100周年の未来に向けた土台作り



都民ファーストの会 国民 細川 正博



区長の区政への基本的な考え 基本構想・基本計画は高野区長の下で策定に向けた準備に入るべき。区長の見解は。また、その際重視する価値観や視点は。 8年4月に予定の次期基本構想・基本計画の策定を前倒しすべく早急に準備を進める。「ひとが主役」、「持続発展するまち」を実現する視点、「区民に

に対するトレーニングが重要だが。

外部講師を招いての研修や職員同士での協議の場を設け、資質の維持・向上を図る。なお、判定をめぐる保護者の方々のご不満、ご批判の声についてもお気持ちに寄り添い、相談をしていくスキルを備えていると自負しているが、さらにスキルアップに努める。

●駒込の魅力と価値を高める施策について

「染井よしの桜の里公園」横の土地を購入した意図は。

不燃化特区エリア内の木密地域の解消を推進するために、広場等、様々な用途での利用を想定し、取得したものである。

●災害対策について

近年の異常気象に対するJR所有地、国道の所管との連携については。

6月2日に巣鴨駅前広場が冠水した際は、JRの管轄であるが状況確認等行い、その後、都とも情報共有した。今後も区民の安全確保を第一に、必要であれば管轄の枠を超えて対応する。

児童相談所設置市となった本区でも児童養護施設退所後の支援の強化を検討すべきでは。

支援は極めて重要。今後、区独自の給付型奨学金の創設等、必要な支援策を検討していく。

●デジタル・AIの活用

会派で重点要望し予算化された公共施設予約システムのオンライン決済の事業の進捗は。

課題整理と並行して新システムを構築中。6年4月からほとんどの施設で予約時にオンライン決済が可能となる予定。

行政手続きのデジタル化の進展等で「345日開庁」の目的が代替可能と判断できる場合などは、縮小も視野に入れるべき。

土日の来庁者数は減少傾向。利用状況やニーズの変化を踏まえ、改めて今後の方向性を検討。

先行自治体の取組を参考に、本区でも生成AI活用の検討を始めるべきでは。

課題もあるが、活用に向けて積極的に検討を深めていきたい。

●池袋周辺のまちづくり

池袋のウォークアブルなまちづくりについて、これまでの方針を受け継いで進めるのか。

基本方針として「人」が主役のまちづくりを理念として掲げ、「文化」「自然」「ストーリー」といった3つのテーマをもとに9つの取組を示してきた。この方針を受け継ぎ、更に発展させ、まちづくりを進めていきたい。

●伝統工芸への支援

伝統工芸展を具体的な成果を感じられるイベントにすべく、

内容や展示方法等につき伝統工芸保存会との事前協議を望む。

例年以上に、卓越した技が感じられるような展示方法や参加したくなる体験教室の開催など、伝統工芸保存会のアイデアをよく聞き、準備を進める。

「東京としまの宝物」で良好な成績を取った商品やサービスには、ふるさと納税の返礼品への追加や区イベントでの出店機会確保など、副賞を設けては。

提案の副賞化を念頭に置きながら、多くの事業者の参加と販売促進につながるよう、官民一体となって取り組んでいく。



東京としまの宝物

高野新区長の政治理念と区政運営に携わる基本姿勢について

政治家としての理念は。

「ひとを主役」とし、区民一人ひとりが希望をもって生活できるように広い視野と区民目線と考え抜き、実行すること。

区民に不利益なことは、国や都に対しては是正する決意と姿勢があるか。また、どのような行動をとるか。

要望すべきことは要望し、協力すべきことは、しっかりと連携していく。給食費無償化について、国が主体となり無償化を実施するよう訴えていく。

都区間の財源問題等に対して都知事と対峙し区側の主張を貫く決意があるのか。また、具体的対応は。

児童相談所の運営に係る必要な財源は、区側に移管されるべきと考える。都と区が議論を深め、特別区長会のメンバーとして、都との協議に臨む。

●新型コロナウイルス感染症対策について

長崎健康相談所を保健所に戻すことによる機能強化を含めた今後の取組は。

健康危機管理事態への対処には、池袋保健所1箇所に人的資源を集中し、統一的かつ機動的な対処が有効と考える。そのため、長崎健康相談所を保健所に戻すことは考えていない。

●学校給食無償化について

我が党の主張で区民の願いが実り、補正予算が計上された。

引き続き来年度以降の予算計上を。また、財政支援を含めて都に制度化を求める予定は。

来年度以降も継続して実施すべきと考える。都には、国の負担において推進することを求め、特別区長会から要望する。

●介護保険の拡充について

介護保険被保険者の保険料など区民の負担増に対する議論の状況及び負担増に対し、白紙撤回を求めるべき。

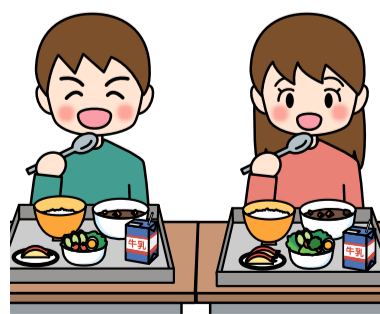
国の動向を注視し、必要に応じて意見を挙げていく。制度の見直しについて、白紙撤回を求める考えはない。

介護保険料軽減策として、基金を繰り入れて引き下げを。被保険者の保険料負担の増大につながるよう、現在40億円ある介護給付費準備基金を活用していく。

●羽田新飛行ルートの中止、撤回を求めることについて

地域住民は騒音、落下物の危険に日々さらされている。国や都に中止、撤回を求めるべき。

現時点で、国に対して撤回を求める考えはない。



学校給食無償化

豊島区の未来を見据え、勇気ある選択を!



維新・無所属 ふるぼう知生 区長が5年度当初予算に副



区長の立場で給食費無償化を強く主張しなかつた理由は。また、主張するに至った経緯は。

これまでも国や他自治体の動向などを注視しつつ、慎重に検討。国において3月に無償化の検討が動き出したことを踏まえ、

給食費無償化は今年の9月から実施に向けての予算化となつていますが、4月に遡る考えは。

学校の事務負担を十分に考慮し、準備の整う最も早いタイミングである9月とした。

国に対する給食費無償化の要望は、いつ頃どのような形で行う考えか。

特別区長会に提案し、本年2月に特別区長会の国に対する予算要望案に盛り込まれた。このほか、7月を目前に、特別区教育長会として国へ要望を行う。



給食費無償化が実現!

ウェルビーイングという言葉が近年使用されている。教育におけるウェルビーイングの考え方をどのように教育現場に展開していくのか。

現在、策定を検討している「豊島区教育振興基本計画」の中で具体的な教育現場への展開を含めた教育施策を打ち出す。

コロナ禍で失われたコミュニティや地域の絆を再構築することへの問題意識は。また、町会、高齢者クラブあるいは民生委員の方々からどのような報告を受けているか。

個別に声かけを行ったり、行事が再開されるなど、徐々にコロナ禍前に戻りつつある。その一方でコロナ禍を経て地域とのつながりが途切れている例もあり、コミュニティづくりの在り方を見直していくことが必要。

プラスチック資源回収の区内モデル地域における住民の協力や浸透状況は。

5月にモデル地域を対象に行った調査では、制度の浸透がうかがえる。回収量も増加しており、円滑に実施。

何を継承し、何を変えていくのかについて

区長が困難な決断をする際、選択や判断をする軸は。

「区民のため」、「区民福祉の増進のため」、そして、「豊島区の持続発展」を判断の軸に据え、取組効果・必要性・緊急性等を区民目線で判断。

町会・商店街・地域のお祭りなどの地域コミュニティへ、新たな担い手となる若者を区と学校で連携する取組の実践を



無所属元気の会
小川 弘明



●大学・専門学校等と連携した地域コミュニティの新たな担い

手参加施策について
大学や専門学校等と連携し

て、地域コミュニティへの参加を斡旋、後押しすることについて区の見解は。

地域活動に興味の持てる講座やセミナーの開催、活動の場



大学・専門学校等と連携し地域コミュニティへの参加を斡旋

住み続けたい
笑顔あふれる街
豊島区を目指して



公明党
根岸 光洋



●認知症対策について

認知症検診を「もの忘れチェック」と分かりやすくしたことで申込が増加すると期待される。拡充の理由、検診の効果について、区の考えは。

対象年齢の拡充要望などから対象者を拡充した。啓発と検診による早期発見により進行を緩やかにし、自分らしい生活の継続に資すると考える。



もの忘れチェック (認知症検診) 問診票

●健康施策について

带状疱疹ワクチン接種希望者が今後増加すると思われるが、継続助成について区の考えは。

の紹介をするなどの施策を検討する。

●睡眠の正しい知識と習慣を身に付ける睡眠教育指導「眠育」について

区では、子どもたちの生活習慣やネット依存、特に寝る前のデジタル機器の利用状況について、どのように把握しているか。また、今後どのように指導していくか。

「生活に関する調査」において状況を把握している。睡眠を児童、生徒が自らの健康課題とできるような指導を続けていく。

希望者全員が助成を受けられるよう、予算の拡充を行う。

●環境課題について

ゼロカーボンシティを宣言した本区として、バイオマスが含まれた製品を率先して利用すべきと考えるが、いかがか。

既に一部の業務でごみ袋を使用しており、今後更に切替を進める。また、ごみ袋以外の製品も導入を拡大していく。

地域の灰皿がなくなってきたおり、残された灰皿に喫煙者が集中している。灰皿利用に係る周辺の影響への区の認識は。

ポイ捨てや副流煙について多くの意見がある。また、灰皿を置いている店舗等は、管理や苦情対応に苦慮していると認識している。

喫煙場所が少なくなっていることにより、駐車場や公園外での喫煙が増えていることについて現状と対策は。
民間事業者主導による喫煙

所設置に取り組み。併せて、苦情箇所周辺のパトロールの強化、啓発看板設置等の対策を進める。

●安心の街づくりについて

近年の豪雨は時間雨量も増加している。防災訓練の際に水防訓練や水防への知識・情報提供も必要ではないか。

救援センター開設運営訓練等、各種訓練の際にも水防に関する情報提供を行い、風水害に対する防災意識向上に努める。

自転車ヘルメット普及啓発事業において、区民の需要に応じて予算拡充するなど、今後の区の取組は。

購入を希望する全ての区民のために予算を確保するとともにHPや広報、SNSの活用により周知を徹底する。

豊島区の業務を見直すことが区民の利益へと繋がる第一歩



立憲・れいわ
中山 よしと



●業務の外部化について

新型コロナウイルス感染症関連業務に関し、委託先からの過大請求の発生、兆候はないか。

コロナ関連の全ての業務において適宜・適切な履行を確認。報道にあるような不適切な請求の事実はなく、適正に委託業務が履行されているものと認識。

特に随意契約の委託先について

施策評価が「未達成」及び「大きく未達成」となっている施策の区民への影響、原因及び今後の展望・対策は。

4年度の施策評価結果の「未達成」「大きく未達成」事業11のうち、多くは講座開催回数や施設・イベント来場者数など、コロナに影響を受けやすい評価指標を設定。区民の関心や意識向上への影響が危惧されるこ



委託先のモニタリング強化

とから、今後、各講座の開催回

数を回復させるなど対応する。

活用し、公衆喫煙所設置を推進

する。

希望ある未来の豊島区へ



日本共産党
森 としおる



●物価高騰対策について

問 働く人の賃金が大きく下が
り、経済成長が止まるという日
本経済の長期低迷の上に、物価
高騰が暮らしと経済を直撃して
いる。国に消費税率の引下げと
インボイス制度導入の中止を求
めるべき。

答 現時点で国に消費税の引下
げを求める考えはない。インボ
イス制度についても、導入中止
を求める考えはない。

●都立大塚病院の独法化につい

問 区民の命と健康を守る若で
ある都立大塚病院について、都
に対し公的医療を守り更に充実
するよう求めるべき。

答 都は、引き続き都立病院と
して行政医療を安定的かつ継続
的に提供することを表明してお
り、区として改めて要望する考
えはない。

●池袋保健所の仮移転と本移転

問 本移転計画の問題が山積し
ている。現在の仮庁舎の土地を
取得して、誰もが安心して利用
できる池袋保健所として運営す
べき。

答 現在の仮庁舎地は造幣局南
地区のまちづくりを活用される
予定のため、本移転を計画した
り、区として改めて要望する考
えはない。

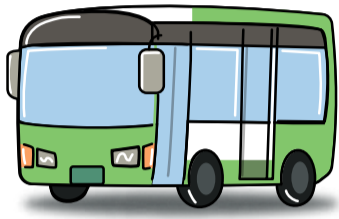
問 コミュニティバス導入につい
て
答 イケバスよりも安全と快適
性を備え、スピードが出る、メ
ンテナンスの少ない車両の方が

優れている。見直しの検討を。

答 イケバスは、街のイメージ
アップに大きく貢献しているの
で、縮小や廃止を含めた見直し
は検討していない。

問 近隣住民から強い要望があ
る宮仲公園通りや、折戸通り、
春日通りに、コミュニティバス
の早急な検討と試験的な導入を
求める。

答 多くの課題を一つずつ整理、
解決することが必要なため、早
急な導入は難しい。



コミュニティバスの導入

●誰もが安心して暮らせる街に

問 公園を増やし、みどりの面
積を拡大することが必要。未利
用地である北大塚三丁目児童遊
園跡地を公園として整備しては
いかがか。

答 当該地域の公園は適正に配
置されているため、再度公園等
にする考えはない。

問 区として受動喫煙が生じな
いよう対策を講じるべき。
答 パトロールや啓発等の対策
強化に加え、今年度から設置要
件等を緩和した区の助成制度を

豊島区のこれから



維新・無所属
泉谷 つよし



●行政の継続と公約の係りにつ

問 これまで政策等を変更する
場合に区民への説明が不十分で
あったことから多くの局面で問
題を引き起こしている。時間を
かけ、丁寧な説明すべき。

答 計画・方針の見直しや新た
な施策の推進に当たっては、区
民に背景や方針について丁寧に
説明することは必要と考える。

●マンションについて

問 特定整備路線により転居を
余儀なくされ、住み慣れた地を
離れることに不安を感じる方も
多いのでは。区の休有地を代替
え地として活用できないか。

答 区が保有・管理する未利用
地は、区民の財産として有効活
用するため、福祉施設などを含
め慎重に検討している。特定整
備路線により転居が必要な方へ
の生活再建支援は、都で適切に
対応されていると認識。

●保育行政について

問 保育行政に対する現状と今
後の見通しは。また、保育施設
経営の注視と今後の支援策は。

答 6月1日現在、定員充足率
は88.1%で、さらに上昇する見込
みである。今後は4年度策定の
整備方針や人口の推移を踏まえ、
区の保育政策の方針を検討する。
また、保育施設の経営状況を注
視し、既存の支援に加え、国や
都の事業を運営支援策として活
用、実施していく。



保育行政

●ふるさと納税について

問 減収が見込まれることを踏
まえ、職員の配置を強化し、様
々なアイデアで対応すべき。

答 今年度に専門部署を設置し、
職員1名増とした。返礼品につ
いても部署横断的な連携を行う
とともに、民間企業や団体との
協議を重ね、商品開発に努める。

子どもたちが夢を もてるまちの実現 に向けて



立憲・れいわ
宮崎 けい子



●隣接校選択制について

問 事情により転校する場合や
近年の大型マンションの建設に
よる一時的な児童数増加に対す
る教室不足の解決に向け、隣接

校に空きがあれば、選択できる
ように検討しては。

答 個別事情のある方について
は、丁寧に理由を聞き取りつつ、
きめ細かく対応していく。

●育児支援ヘルパー事業につい

問 区内で産後ドゥーラを増や
すために資格取得費の一部を助
成しては。また、今後の展開を
含めた区の所見は。

答 産後ドゥーラに対するニー
ズは高まっており、派遣の対象
家庭を増やす必要があると認識。
資格取得費用の一部助成、また
取得した資格を活かす方法など
具体的な方策を検討していく。



産後ドゥーラ

多様性を認め合う社 会の実現に向けて



立憲・れいわ
西崎 ふゆか



●パートナーシップ制度につい

問 本区はパートナーシップ条
例の成立から5年目を迎え、現
在は区と都の双方の制度が利用
可能となった。利用できる区の
施策・事業をより充実させ、そ
れらを区のHP上で確認できる
ようにするべきでは。

答 早急に全庁的に調査・確認
し、利用可能なサービスの充実
に努め、HP等で周知する。

●不登校対策について

問 区外の学校に通う子供も利
用可能な居場所として、袖子の
木教室や中高生センタージャン
プ等があるが、周知が不十分。
町会掲示板や広報としま、区の
施設を通じて積極的に案内せよ。

答 今後は、子供や保護者へ情
報が届くよう、パンフレットや
チラシを配布し、SNSを活用

●区民による政策・予算提案制 度について

問 区長は所信表明で、区民か
ら具体的な政策アイデアを募集
し、予算化すると述べたが、ど
のように進めていく予定か。

答 集まったアイデアの中から
実現すべきものを投票により選
定し、6年度の新規・拡充事業
として提案。詳細が決まり次第、
広く案内をする。



音楽スタジオ活動風景
(中高生センタージャンプ長崎)